

平成29年度 新潟県農業大学校研修案内

○研修方針

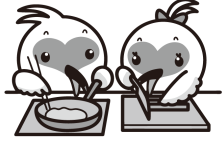
研修は、次の4つ「①農業の担い手を育成する研修、②農業経営のステップアップを推進する研修、③農業機械の操作や整備、農作業安全に関する研修、④農業体験等をおとして県民等の農業理解を促進する研修」に分けて実施しています。様々な内容があります。皆さまの参加をお願いします。

○申込み

申込みにあたっては、本チラシまたは「平成29年度研修計画書」（地域機関や市町村等に配布の冊子又はHPに掲載）をご覧になって、研修内容や参加の要件等を確認し、それぞれの方法（4ページの申込区分参照）で申し込んでください。

なお、継続支援のため、受講者名簿を県庁経営普及課と管轄する普及指導センターに提供する場合がありますので、ご理解ください。

	研修名・内容及び習得技術等	研修対象者	予定人数	開催期日・内容	申込期限	経費(予定)	申込		
担	就農実践コース ●稲作、野菜の2コース ●農業の基礎講義と栽培実習のほか経営・企画等専門講義や先進農業者での実践研修など、農業経営の基礎と高度な経営手法が学べます。 ●要件を満たす人は農業次世代人材投資事業(準備型)の交付申請が可能です。	・新たに県内に就農や法人就業したい人 ・1年間、就学・ほ場管理が可能な人 	稲作、野菜各コース 6人程度	平成29年4月10日(月) (開講式) ～ 平成30年3月1日(木) (閉講式)予定	3月3日(金)	実習実費等 40,000円程度 テキスト代等は別途実費が必要	A		
	就農アカデミー ●稲作、野菜、果樹、花きの4コース ●希望する科目の農業技術の基礎が学べます。 ●農業経営やパソコン簿記の基礎知識、農業機械の基礎的な操作が習得できます。	・新たに県内に就農を希望する人及び就農後間もない人又は農業法人への就職を考えている人 ・概ね18歳～65歳の方	稲作20人 野菜15人 果樹10人 花き5人	平成29年4月28日(金) (開講式) ～ 平成30年1月中旬 (閉講式他) 月1回程度、金曜午後開催	4月5日(水)	テキスト代 1,500～ 2,500円程度	A		
い 手 育 成	農業担い手農耕用免許取得研修 ●農業の担い手の大特免許又はけん引免許(共に農耕用限定)の取得を支援します。	研修対象者	15人	■第1回 大特 4月24日(月)～4月27日(木) けん引 4月21日(金)～4月27日(木)	3月15日(水) ～4月5日(水)	受験手数料等 5,000円 受講料 1,500円	A		
	●以下の(1)～(3)の全てに該当する者 (1)年齢:18歳以上65歳未満	15人	■第2回 大特 6月19日(月)～6月22日(木) けん引 6月16日(金)～6月22日(木)	前期 4月10日(月) ～ 5月15日(月)					
	(2)所有免許 ・大特希望者は普通運転免許 ・けん引希望者は大特免許(農耕用限定含む)	15人	■第3回 大特 7月3日(月)～7月6日(木) けん引 6月30日(金)～7月6日(木)						
	(3)下記のア～クのいずれかに該当する者 ア 就農実践コース受講者 イ 農業機械士 ウ 青年就農給付金(準備型及び経営開始型)を受給している者 エ 中山間地域営農体制確立支援事業(県事業)受講者 オ 緊急雇用対策等を活用して雇用された就業者で就農後3年以内の者 カ 認定新規就農者及び認定就農者 キ 認定農業者 ク 認定農業者の子弟・配偶者 ケ 認定農業者(法人を含む)への就業者	15人	■第4回 大特 7月10日(月)～7月13日(木) けん引 7月7日(金)～7月13日(木)	後期 8月1日(火) ～ 9月8日(金)					
	※カ～ケは年内に認定を受けることが確実な者を含みます。	15人	■第5回 大特 10月16日(月)～10月19日(木) けん引 10月13日(金)～10月19日(木)						
	●注意点 ・別途、要件確認資料が必要です。詳細を「平成29年度研修計画書」で確認してください。 ・要件の該当が確認できない場合は受講できません。	15人	■第6回 大特 10月23日(月)～10月26日(木) けん引 10月20日(金)～10月26日(木)						
		15人	■第7回 大特 10月30日(月)～11月2日(木) けん引 10月27日(金)～11月2日(木)						
		12人	■第8回 大特 11月6日(月)～11月9日(木)						
	U I J ターン農業体験支援研修 ●農業未経験者へ農業体験の機会を提供し、農業の理解促進と就農の意思決定を支援します。	県内への就農希望者、法人等への就業希望者	各回 5人以内	6月、7月、9月、10月の中旬 各1回 (いずれも1泊2日)	開催予定日の 10日前まで			原則無料 リネン料、 食費は 個人負担	D

	研修名・内容及び習得技術等	研修対象者	予定人数	開催期日・内容	申込期限	経費(予定)	申込
農 業 経 営 の ス	農産加工基礎研修 ●基本的な加工原理の講義と実習により、農産加工の基礎的な技術を習得できます。 ●複数の受講も可能ですが、各回、受講者1名ごとに往復はがきでの申込みが必要です(まとめたの申込みはできません)。 ●予定人数を大幅に上回った場合、選考により受講者を決定します。 	農産加工の起業化・技術改良の意志がある農業者	10人	■ジャム 5月18日(木)	開催期日の2週間前まで	実習材料費 200~1000円	B
			10人	■笹団子 6月1日(木)			
			10人	■梅干し 6月22日(木)			
			10人	■浅漬 7月6日(木)			
			10人	■アイス 7月13日(木)			
			10人	■米粉パン 7月20日(木)			
			10人	■シロップ漬 8月10日(木)			
			10人	■キムチ 11月30日(木)			
			10人	■切り餅 12月6日(水) 7日(木)			
			10人	■めん類 12月7日(木)			
			10人	■ベーコン 2月1日(木)			
			10人	■こうじ 2月6日(火)			
			10人	■みそ 2月8日(木)			
10人	■納豆 2月15日(木)						
テ ッ ブ ア ツ ブ 支 援	農産加工発展研修 ●加工の基礎理論と最新情報の講義と実習で、農産加工の高度な技術を習得できます。 受講区分 ●以下のいずれかで申込み (1)年間 すべての講義と実習 に参加往復はがきに “すべて受講” と明記して申込みください。 (2) 各回単独 で参加 “第何回希望” と明記の上、開催の2週間前までに申込みください。 ●各回単独で参加する場合は、各回、受講者1名ごとに往復はがきでの申込みが必要です(まとめたの申込みはできません)。 ●予定人数を大幅に上回った場合、選考により受講者を決定します。	農産加工の起業化・技術改良の意志がある農業者	15人	■食品衛生の基本 5月25日(木)	申込期限	・受講区分(1) すべて受講の場合、随時受付 ・受講区分(2) 各回の単独希望の場合、開催期日の2週間前まで 原則無料 (一部 実習材料費 を個人負担)	B
			15人	■調味配合計算の基本 6月29日(木)			
			15人	■野菜と果実の性状と加工の実習 7月25日(火)、27日(木)			
			15人	■食品化学の基礎 8月24日(木)			
			15人	■食品添加物の基礎 9月28日(木)			
			15人	■塩蔵・乾燥等の農産物の貯蔵について 10月19日(木)			
			15人	■古漬の調味・袋詰・殺菌の実習 11月14日(火)、16日(木)			
			15人	■食品全般の滅菌・殺菌・静菌・除菌 12月21日(木)			
			15人	■食品製造機器・施設 1月11日(木)			
			15人	■食品営業許可・食品表示について 2月22日(木)			
	農産加工特別研修 ●農産加工を行っているグループ等の特産品開発の課題解決を支援します。	農産加工を行っている農業者、起業化志向の農業者	各回 3人以上	平成29年4月 ~ 平成30年3月 受講希望組織が計画する日 (開催日は事前調整)	開催予定日の2週間前まで	実習材料 持参	C

	研修名・内容及び習得技術等	研修対象者	予定人数	開催期日・内容	申込期限	経費(予定)	申込
農業 経営 の ス テ ッ プ ア ッ プ 支 援	農業経営基礎研修 (経営管理・複式簿記) ●パソコン簿記ソフトの操作を通して複式簿記を学ぶと共に、農業経営の基礎を学びます。就農間もない人、経営を学び直したい人に最適です。 ●第1回、第2回は同じ内容です。	パソコン操作ができる方で、青年就農給付金受給者、農業次世代人材投資事業(準備型)交付対象者、新規就農者、経営改善志向農業者等	30人	■第1回 6月27日(火)～6月28日(水)	6月1日(木)	無料	B
			30人	■第2回 12月5日(火)～12月6日(水)	11月15日(水)		
	農業経営発展研修 (経営・販売戦略) ●自分が目指す農業経営を実現するための戦略づくり等について、事例を交えて学びます。	法人役員候補者、経営改善を志向する農業者、青年就農給付金受給者等	20人	11月10日(金)	10月30日(月)	無料	B
	農政時事研修 (農業におけるICTの現状と活用について) ●農業の可能性を広げるICT活用の取組み等について、事例も含めて学びます。 ●ドローン、ICT対応機械、関連機器等の展示・実演も行います。	農業者、関係機関等	100人	7月19日(水)	7月3日(月)	無料	C
農	初心者農業機械操作点検研修 ●トラクター等の基本操作と点検整備方法、農作業安全について学びます。 	新規就農者、法人等就業者、農村女性等の農業機械初心者	10人	■第1回 管理機・刈払機の操作 5月23日(火)	5月9日(火)	無料	B
			12人	■第2回 トラクター操作・点検整備 7月25日(火)～7月26日(水)	7月11日(火)		
			12人	■第3回 トラクター操作・点検整備 9月19日(火)～9月20日(水)	9月5日(火)		
業	農業機械士認定研修 ●農業機械の適正な操作、作業点検・整備等、管理手法を習得できます。また、農業機械士認定試験を実施します。 ●注意点 県職業能力開発協会が実施する「農業機械整備技能士」を養成する研修ではありません。	「農業機械士」を目指す農業者で大特免許取得済の者 ・18歳以上～65歳以下	20人	10月10日(火)～10月12日(木) (3日間)	8月31日(木)	テキスト代 2,376円	B
機 械	農作業事故ゼロ推進研修 (出張研修) ●農作業事故防止の意識を啓発するために、地域へ講師を派遣し、農作業安全の講義を行います。		各回 20人程度	農業者及び関係団体が 計画する日 (開催日は事前調整)	開催予定日の 2週間前まで	無料	A
	農作業事故ゼロ推進研修 (農機具安全使用研修) ●農作業事故の多い農機具(刈払機)の取り扱い方法や分解点検等、安全使用について習得できます。	農業者、関係機関・団体の農作業安全担当者	30人	平成30年 3月2日(金)	平成30年 2月1日(木)	受講料 9,000円 返信用封筒 (82円切手)	B
	農作業事故ゼロ推進研修 (農作業事故応急手当研修) ●万一農作業事故が発生した際の応急手当の方法を学びます。内容は普通救命講習1となります。		30人	平成30年 2月28日(水)	平成30年 2月1日(木)	無料	B

	研修名・内容及び習得技術等	研修対象者	予定人数	開催期日・内容	申込期限	経費(予定)	申込
農	緑の学園“1泊2日コース” ●先進農家等への視察と農業大学校で稲作、野菜、果樹、花き、畜産から希望する農作業が体験できます。	高校生	30人	8月3日(木)～8月4日(金) (1泊2日)	7月3日(月)	4,000円 食費、 リネン料、 傷害保険 掛金他	別途
	緑の学園“日帰りコース” ●農業大学校で農作業が体験できます。	高校生	20人	平成30年 3月8日(木)	平成30年 2月23日(金)	1,000円 昼食代、 傷害保険 掛金	
業	「大地の子」農業体験研修 ●農作物の管理作業や牛のエサやり乳搾り作業が体験できます。 ●農業体験学習を支援します。	【畜産】 幼稚園・保育園児、 小・中学生 【畜産以外】 小学校高学年、 中学生	各回概ね 5人以上 50人未満	4月～12月 受講希望組織が計画する日 (開催日は事前調整)	開催予定日の 30日前まで	原則無料 牛のエサやり、 乳搾り体験は ひとり100円	A
	農業体験支援研修 ●農作物の管理作業や牛の飼育作業が体験できます。また、新潟県農業の概要について学べます。	県内外の大学、 専門学校等の学生	各回 5人以上 35人以下	5月～10月 受講希望組織が計画する日 (開催日は事前調整)	開催予定日の 20日前まで	原則無料 一部研修は 実費負担	A
体 験	農産加工体験研修 ●楽しく、季節の野菜、果物の農産加工が体験できます。	県民	5人	■笹団子 6月1日(木)	開催期日の 2週間前まで	実習材料費 200～1000円	B
			5人	■梅干し 6月22日(水)			
			5人	■浅漬 7月6日(木)			
			5人	■アイス 7月13日(木)			
			5人	■米粉パン 7月20日(木)			
			5人	■シロップ漬 8月10日(木)			
			5人	■キムチ 11月30日(木)			
			5人	■ベーコン 2月1日(木)			
			5人	■納豆 2月15日(木)			

区分	申 込 方 法
A	各研修の 所定の書類又は申込書 に記入し、農業大学校研修センターへ郵送又は持参で申し込みください (所定の書類・申込書は農業大学校研修センターのホームページからもダウンロードできます)
B	往復はがき で、農業大学校研修センターへ申し込みください (受講の可否を返信はがきでお知らせします)
C	各研修の所定の申込書 で、農業大学校研修センター又は最寄りの農業普及指導センターへ電話かFAXで申し込みください
D	青年農業者等育成センター(新潟県農林公社内)025-281-3480へ直接申し込みください

下記の研修は、別途申込み方法をご案内します

別途	緑の学園「1泊2日コース」、「日帰りコース」は高校に別途ご案内します
-----------	------------------------------------

【往復はがきの記載方法】

- 受講の可否を返信はがきでお知らせします。
- 複数の受講も可能ですが、各研修、各回、受講者1名ごとに往復はがきの申込みが必要です。
(まとめたの申込はできません)
- 予定人数を大幅に上回った場合、選考により受講者を決定します。

往信表面	往信裏面	返信表面	返信裏面
〒953-0041 新潟市西蒲区 巻甲12021 新潟県 農業大学校 研修センター行	①研修講座名 (加工研修は希望 日と品名も記入) ②郵便番号、住所 ③氏名(ふりがな) ④携帯電話番号 ⑤ 指示されている ⑥ }研修のみ記入	申込者の 郵便番号 住 所 氏 名	何も書かず 空 白 { 農業大学校が 必要事項を 記入し 返信します

新潟県農業大学校 研修センター

TEL: 0256-72-8547

〒953-0041 新潟県新潟市西蒲区巻甲12021

FAX: 0256-73-3001

E-mail: ngt068260@pref.niigata.lg.jp http://www.pref.niigata.lg.jp/nogyodai/1343599229862.html